



組織基盤の強化や会員満足度の向上を目指す 新年度事業計画・予算などを承認



(▲通常議員総会の様子)

館林商工会議所では3月27日（金）、館林市文化会館「アザリア」において通常議員総会を開催し、令和7年度補正予算書（案）について、令和8年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）等について審議がなされ、原案通り承認された。総会終了後には懇親会が行われ、参加者たちは懇親を深めていた。

事業計画

日本経済は、賃上げや物価上昇への転換期にあります。多くの中小・小規模事業者は、原材料価格の高騰や人手不足により依然として厳しい経営環境にあります。

地域経済の活性化に向けては、中小・小規模事業者は「稼ぐ力」の強化が不可欠であり、新分野進出、省力化投資、DX推進、海外展開など、「変革」に果敢に挑戦することが重要となります。

当所では本年度も引続き組織基盤の一層の強化に努め、社会経済変化に対応するための支援や、管内中小・小規模事業者の課題解決に向けたより丁寧な「提案型伴走支援」を実施するとともに、地域の企業ニーズに即した会員サービスを積極的に行います。

特に、「商工たてばやし」の配布による全会員事業所訪問を通して、気軽に相談できる「かかりつけ医」としてのワンストップ相談体制をより充実し、会員満足度の

向上を目指します。

具体的には、資金繰り対策、事業承継、人手不足、中心市街地活性化、女性経営者の創業支援、SDGs対応や、DX・AIの導入支援等にも新たに取り組んでまいります。

また、行政や金融機関との連携を一層強化し、補助金・融資制度の活用や地域振興策の推進を通じて、会員企業の経営基盤を支える取り組みを加速いたします。

そのためにも、部会・委員会活動の活性化を図るとともに、商工会議所職員の支援能力の向上に努めます。

また、日本商工会議所をはじめ各地商工会議所や国・県・市との緊密な連携を図り、行政に対する政策提言など、地域経済の発展に取り組みます。